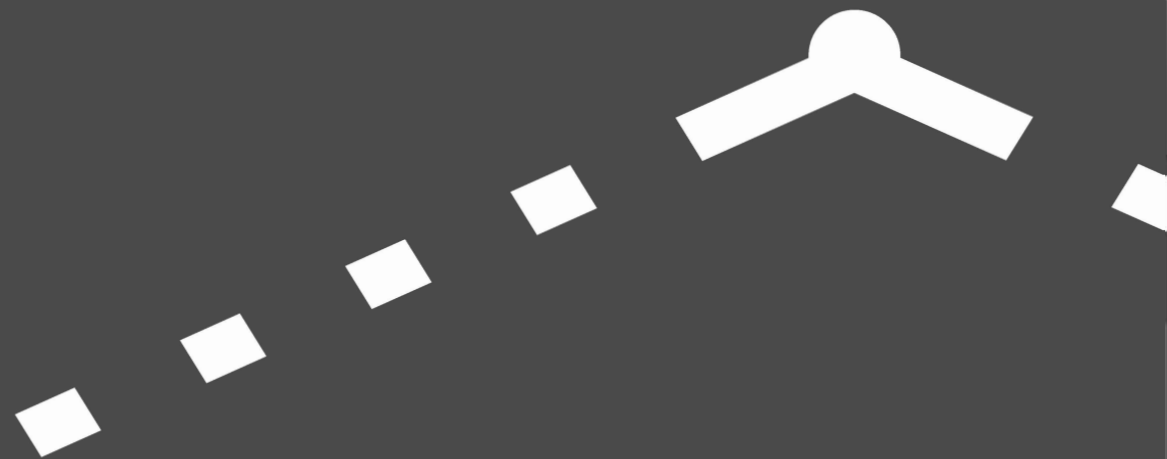




The House of Atreus, Toshima-ku, Tokyo



NPO 法人アートネットワーク・ジャパン ×
東京アートポイント計画

豊島区在住アトレウス家

むかしむかし、あるところに、エレクトラという娘がいました。

出口
EXIT
2



←引越先
事務所
→

ここは
地下1階です。

「見えない戦争」が始まって、エレクトラは大きな建物に引っ越しました。





入口に「アトレウス家」と掲示されている部屋のみご利用いただけます。



どこかでページをめくる音。



あと2時間で映画会。



3月11日の震災以降、それまで見えていなかったものがつぎつぎと見えるようになっていきます。原子力の問題にしろ、政治の問題にしろ、あの日以降新しく生じたのではない、むしろずっと前からあったのに見えていなかったのだ、という思いにとらわれています。

2010年度に墨田区で展開していた「墨田区在住アトレウス家」の最後の公演が震災の影響で中止になったあと、ある本を読み返していました。市村弘正／杉田敦「社会の喪失」(中公新書)という本です。そのなかで「見えない戦争状態」ということがいわれています。原発や薬害、年間3万件を超える自殺など、われわれは平時においてすでに戦争状態を生きている。それはたんに見えていないだけで、ふだんからずっと続いており、たまに事故などの際に突然見えるようになるにすぎない、というわけです。それを読みながら、エレクトラの父アガメムノンが出向いたトロイア戦争は、いまならばそういう「見えない戦争」なのではないかと考えました。

われわれは、最後の作品を中断したまま墨田区の家を引き払いましたが、縁あってこの豊島区の公共施設で新作をつくることになりました。アトレウス家のプロジェクトは、ギリシャ悲劇の一家の物語を手がかりに、家やまちを再発見していくものです。劇場公演とくらべ、場所への依存度がものすごく高いので、場所が変われば一から作りなおすことになります。

公共施設にどうしたら居心地よく住めるか、ということが関心の対象になりました。いまも続いている被災者の避難生活をわれわれが取り上げることはできません(したくありません)。けれども、3月11日の夜に都内のあちこちに突如出現した、東京の避難所のことが頭から離れなくなりました。墨田区の家(その日は公演を5日後に控え準備中でした)から都心を横断して帰宅する途中、卒業式の飾りつけがされた体育館で、靴を脱いで、味噌汁を飲ませてもらったあの時間。近い未来にも東京で起こりうる避難生活。

公共施設で「住まい」や「居場所」について考える「問いのかたち」をさぐっていくうちに、演劇というよりは展示に近いものになりました。演劇には時間と空間を変形させる力があります。劇場という「何もない空間」で、「出し物」をつくって「見てもらう」こともできますが、そうではなく、現実のまちなみや建物のなかで、時間と空間をほんの少し変形させることによって、何かを感じてもらえることではないか。

今回はこれまで以上に多くを観客のみなさんにゆだねています。上に書いたことも作りながら私が考えたことで、答えではありません。(公演パンフレットより)





もう失われたあの家のことを、からだがおぼえているらしい。

<http://thoa.gr/>
<http://twitter.com/atreuske>

豊島区在住アトレウス家
Concept Book

編集：長島確
写真：雷田了平
デザイン：福岡泰隆
発行：東京文化発信プロジェクト室
発行日：2012年3月30日

「東京アートポイント計画」とは、「東京文化発信プロジェクト」は、東京ならではの芸術文化の創造・発信と芸術文化を通じた子供たちの育成を目的に、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が実施している「東京文化発信プロジェクト」の一環として、平成21年度より新たに着手している事業です。東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指しています。

NPO法人アートネットワーク・ジャパン
×東京アートポイント計画

豊島区在住アトレウス家 The House of Atreus, Toshima-ku, Tokyo

上演プログラム

2011年9月13日(火) - 9月18日(日)

会場：千登世橋教育文化センター
(東京都豊島区雑司が谷)

出演：福田毅 武田力 稲継美保 石田晶子
立川真代 東彩織 関谷洋子
和田匡史 山崎朋(17日のみ)

コンセプト・テキスト・構成・演出：長島確

コラボレーター：福田毅 武田力

客室：稲継美保 石田晶子 立川真代 東彩織

台所：関谷洋子

技術・映像・音響：須藤崇規

音響協力：和田匡史

写真：雷田了平

ロゴデザイン：福岡泰隆

ドラマトウルク：佐藤慎也

制作：西島慧子 堀切梨奈子

制作協力：急な坂スタジオ 戸田史子

コピー：L PACK (14日のみ)

メディアプログラム

< 移動型コミュニティーラジオ AtreusTune >

2011年7月より不定期配信

音楽・選曲：大谷能生

DJ：稲継美保

技術：関谷洋子

制作：西島慧子

<http://www.ustream.tv/channel/atreustune>

<http://twitter.com/AtreusTune>

人材育成プログラム

< アトレウスの学校 >

2011年8月 - 2012年3月 (全10回)

講師：長島確 佐藤慎也 須藤崇規

ゼミ生：14名

企画：mmp (ミクストメディア・プロダクト)

主催：東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン

協力：日本大学佐藤慎也研究室 東京藝術大学市村作知雄研究室 中野成樹+フランケズ 東京芸術劇場 東京デスクロック 牧野まりか 高野和哉

飯景美 大橋麻紀 鈴木薫 長尾芽生 福田朱根 堀内里菜 堀木彩乃 馬淵かなみ 吉田智恵美 苅部将大 田島由深

後援：豊島区